

## 航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：内藤 晃 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

# 航空産業へのさらなる支援を国土交通大臣に提言！

## ～ワクチン優先接種・空港における水際対策強化等～

3月16日(火)、参議院国土交通委員会で、航空連合政策議員フォーラムメンバーの浜口 誠(はまぐち まこと)参議院議員が、航空連合の課題認識をふまえ、航空従事者へのワクチン優先接種や空港での水際対策強化等について国土交通大臣に直接提言しました。



浜口 誠(参)  
航空連合政策議員  
フォーラムメンバー

### 【航空従事者へのワクチン優先接種】

- 航空会社の従業員は水際対策の最前線を支え、リスクを多く抱えているため、ワクチン接種の優先順位を上げるべきである。

### 【国際線帰着後のPCR検査費用への経済的支援】

- 航空会社の負担となっている国際線乗務後の検査費用について、航空会社の経営状況が非常に厳しいことをふまえ、検査への費用補助等、さらなる支援を検討すべきである。

### 【入国制限の段階的な緩和に伴う水際対策の強化】

- 今後、世界的にワクチン接種が進み、段階的に入国制限を緩和していくことを想定した際、PCRセンターの増設や入国者との非接触での連絡手段の確保など、空港における水際対策を強化すべきである。

### 【航空従事者へのワクチン優先接種】

- 今回は全国民に短期間で接種いただくことを目指しているなか、実施主体が市町村であり、優先業種の選別が現場では困難だという課題がある。
- 一方、国際線の乗務員は、特別な配慮をすべきではないかという意見もあり、継続して検討していく。

### 【国際線帰着後のPCR検査費用への経済的支援】

- 航空会社が自ら責任を果たすことで、空港検疫での検査を対象外としていくことから、今回の検査強化の費用も航空会社による負担としている。
- 別の支援を含め、航空各社と対話を続け、必要な支援を全力で対応する。



赤羽 一嘉  
国土交通大臣

### 【入国制限の段階的な緩和に伴う水際対策の強化】

- 変異株流行国からの入国者に対して、スマートフォンのアプリを活用した位置情報の確認やビデオ通話による状況確認等の対策強化を行うなど、引き続き、国内外の感染状況を見極めつつ必要な対策を講じていく。



厚生労働省